



# がっこう 学校だより

がっこう  
10月号



**Challenge  
Dream  
Interaction**

れいわ ねん がつ にち  
令和4年9月30日  
よこはま しりつかみい だしょうがっこう  
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

## にほんご やさしい日本語

こうちょう よこやまよしあき  
校長 横山 美明

かみいだいぢゅう かみいだいぢゅうがっこう いいだきた しょうがっこう かみいだいしょうがっこう がいこくせき がいこく  
上飯田中ブロック（上飯田中学校・飯田北いちよう小学校・上飯田小学校）は、外国籍や外国  
じどうせいとおお ちいき いいだきた しょうがっこう とうごうまえ かみいだいぢゅう た  
につながる児童生徒の多い地域です。飯田北いちよう小学校の統合前から上飯田中ブロックとして多  
ぶん かきょうせい けんしゅう かさ こんねんど めいじだいがくこくさいにほんがくぶせんにんきょうじゅ やまわきけい  
文化共生についての研修を重ねてきました。今年度は、明治大学国際日本学部専任教授の山脇啓  
ぞうせんせい こうし がつ がつ たぶんかきょうせい にほんご けんしゅうがかい かいさい  
造先生を講師として、4月と8月に「多文化共生・やさしい日本語」についての研修会を開催しまし  
やまわきせんせい ほんこう そつぎょうせい なが ちいき ふか かか  
た。山脇先生は本校の卒業生でもあり、長きにわたりこの地域にとても深く関わってくださっています  
がつみつ か いちどやまわきせんせい やまわき だいがくせい まね きょうしよくいん む にほん  
す。10月3日には、もう一度山脇先生と山脇ゼミの大学生をお招きして、教職員向けの「やさしい日本  
ご  
語」のワークショップを開催する予定です。

“「やさしい日本語」の「やさしい」には、だれ わ やさ あいて はいりよ はな  
「やさしい日本語」の「やさしい」には、誰にでも分かりやすい「易しい」と、相手に配慮して話  
やさ ふた いみ こ にほんご ねんだいこうはん さいがいじ じょうほう  
す「優しい」の二つの意味が込められています。やさしい日本語は、1990年代後半から災害時の情報  
でんたつ しゅだん もち ねんだいいこう へいじ じょうほうでんたつ もち  
伝達的手段として用いられるようになり、2000年代以降は平時の情報伝達にも用いられています。”

（山脇ゼミ「やさしい日本語」\*1より引用）

「やさしい日本語」については、AI機能を用いて自動変換してくれるアプリやWEBサイトもあるの  
にほんご きのう もち じどうへんかん  
で、そういったアプリやサイトを利用することもできます。本校のホームページにある災害時の対応に  
りょう ほんこう さいがいじ たいおう  
ついで、そういったアプリやサイトを利用することもできます。本校のホームページにある災害時の対応に  
ぶんしょう じどうへんかん りょう へんかん い か  
ついで、そういったアプリやサイトを利用することもできます。本校のホームページにある災害時の対応に  
ついで、そういったアプリやサイトを利用することもできます。本校のホームページにある災害時の対応に

へんかんまえ だいきほじしんとくべつそち もと けいかいせんげん だいきほじしん ぼうふうけいほうはつれい きんきゅうさいがいじ  
《変換前》「大規模地震特別措置」に基づく警戒宣言や大規模地震、暴風警報発令などの緊急災害時に  
そな じどう ほごたいさく つぎ さだめ  
備え、児童の保護対策を次のように定めています。

へんかんご おお じしんとくべつたいさく つよ ちゅういせんげん おお じしん つよ かせ  
《AI変換後》「大きな地震特別対策」による強い注意宣言や大きな地震、とても強い風についての  
ちゅうい し はつれい だ きんきゅうさいがい お とき じゅんび こ ほご  
注意のお知らせを発令（出す）など、緊急災害が起こった時の準備をし、子どもの保護へのそな  
つぎ き  
えを次のように決めています。

せんもんてき ようご おお むずか てん にほんご ほんやく てだす  
専門的な用語が多いとなかなか難しい点もありますが、やさしい日本語への翻訳の手助けとなるのは  
たし ぜんじゆつ やさ やさ ふた いみ しめ きかい  
確かです。前述のように「やさしい」が「易しい」と「優しい」の二つの意味を示しているの  
じどうへんかん たよ やさ きもちをもって、どうすれば あいて つた じぶん ことば えら  
での自動変換だけに頼らずに「優しい」気持ちをもって、どうすれば相手に伝わるか、自分で言葉を選  
ぶというその姿勢が大切なのではないかと思えます。「やさしい日本語」は外国籍や外国につながる  
じどうせいとおお にほんご ほご ひと ひょうげん  
児童生徒だけでなく、日本語を母語とするすべての人にとっても分かり易くしっかりと伝わる表現であ  
おも がっこう ぶんしよすべ き か こんごがっこう  
ると思えます。学校からの文書全てがすぐに切り替わるというわけではありませんが、今後学校から  
はっしん し すこ にほんご ちか かんが  
発信するお知らせについては、少しずつでも「やさしい日本語」に近づけるようにしていきたいと思  
ています。

さんこう : \*1 明治大学 山脇ゼミ「やさしい日本語」 <https://yamawaki-seminar.o0o0.jp/japanese/>

\*2 アルファサード株式会社「伝えるウェブ」 <https://tsutaeru.cloud/>

